

「平成21年度第1回富県宮城推進会議幹事会」 会議録要旨

参考資料4

日 時：平成21年5月29日（金） 午前10時～正午
 場 所：宮城県行政庁舎4階 特別会議室
 出席団体：資料名簿のとおり

1 開 会（司会：宮城県経済商工観光部富県宮城推進室 熊谷副参事）

2 あいさつ（宮城県経済商工観光部 若生部長（副幹事長））

- 日ごろより、皆様方には貴重な御提言、また活発な御議論を頂くとともに、「富県宮城の実現」に向け御尽力を賜り、改めて御礼を申し上げます。また、新たに幹事に就任して頂いた4名の皆様には、今後ともよろしくお願い申し上げます。
- 御承知のとおり、本県経済については、昨年9月15日のリーマンショック以来、大変厳しい状況が続いている。県としても、4月の当初予算では、2,200億円を超える経済雇用対策を立て、対応しているところである。
- 報道では業種の一部に景気の底をついたという話もあるが、底が見えつつあるのかないのか、不透明であり、まだまだ厳しい状況が続くものと考えている。現在、国においては、大型補正予算が審議されており、それを踏まえ、県としても6月補正予算を検討しているところである。
- 「富県宮城の実現」に向けては大変厳しい環境にあるが、まずは、緊急的な雇用経済対策に力点を置き、その後に「富県宮城の実現」への歩みを着実に進めて参りたいと考えているので、今後とも皆様方には御協力・御支援をお願い申し上げ、挨拶とする。

3 幹事長選出

(1) 幹事長の選出について

- ※ 仮議長として若生副幹事長（宮城県経済商工観光部長）が進行。佐藤幹事（宮城県商工会議所連合会理事・事務局長）の推薦のもと、満場一致で飯島幹事が幹事長に選任される。

東北大学 飯島理事（幹事長）

- 先程、若生部長からの挨拶にもあったが、我が国の経済状況は、企業収益の悪化や雇用問題、また、個人消費の低迷が続く、大変厳しい状況にあり、この推進会議が目指す「富県宮城の実現」に向けては、県民を始め、産学官が一体となり、県内すべての力を結集して取り組んでいくことが必要不可欠であると認識している。
- こうした厳しい状況にあるからこそ、この幹事会が果たす役割も大きいと思うので、白幡副幹事長と若生副幹事長を始め、幹事の皆様の御協力を得て、「富県宮城の実現」を目指して、取り組んで参る所存であるので、よろしくお願い申し上げます。

4 報告

- (1) 平成19年度県内総生産（速報）の状況について
- (2) 平成20年度「みやぎ発展税」の活用状況等について
- (3) 地産地消に取り組む県民運動について

- ※ 事務局（富県宮城推進室 加藤室長及び新産業振興課 正木課長）より、資料2ないし資料5に基づき一括説明

東北大学 飯島幹事長

- ただ今の事務局説明に対し、御質問はいかがか。

(社)みやぎ工業会 白幡特任顧問

- 資料3の発展税の結果についてであるが、予算に対してどうであったか、予算との乖離状況についてお聞きしたい。また、色々な事業があるが、通常予算と発展税を充てるものの基本的な考え方についてお聞きしたい。

富県宮城推進室 加藤室長

- 発展税の重点的に使う分野としては、「産業振興分野」と将来予想されている宮城県沖地震に対応する「震災対策」の2つの分野に充てている。また使い方については、各事業について予め各部局から要望を取り、効果があるか効率的に運用されるかなどという観点から精査し、事業を選択した。
- 予算との乖離については、20年度の当初予算では24億1,700万円ほどであり、このうち基金活用は11億円ほどであった。年度内に補正があり、事業費が一部増えている一方、基金活用額が3億円ほど減っているが、各事業とも十分効果的に使用されていると考えている。

東北大学 飯島幹事長

- 他に質問は無いようである。地産地消の取組については、各団体での取組例や、把握しているものがある場合は、事務局に提出願う。また、各団体には、あらゆる機会を通じこの取組を周知して頂くほか、具体的な地産地消の取組に結びつくよう、さらなる取組をお願いしたい。

(4) 自動車関連産業と高度電子機械産業の振興に向けた取組状況について

※ 事務局（新産業振興課 正木課長）より、資料6に基づき説明

東北大学 飯島幹事長

- ただ今の事務局説明に対し、御質問はいかがか。

(社)みやぎ工業会 白幡特任顧問

- 自動車、高度電子機械については、協議会を中心に人材育成などを含め色々施策運営がなされている。元々、富県戦略では製造業の集積を15%、あるいは20%高めることとしているが、その中で重点三分野として、自動車、高度電子機械、そして食品製造業ということを決められており、国の企業立地促進法を活用して、県も自動車、高度電子機械産業の集積を図っている。
- 最近、食品製造業が二つの地域で採択されたが、この推進に当たり、協議会的な動きがあると有効であるが、食品製造業に対して協議会的な動きを行政としてリーダーシップを取られるのか、工業会で議論があったのでお聞きしたい。

農林水産政策室 寺嶋室長

- 今年の2月に食品製造業の計画を立案させて頂いた。この計画の着実な実行に向けて、今、御提言のあった協議会の設立といったことも検討しながら、これから着実な計画のための体制について立ち上げて参りたいと思っているので、色々アドバイスをお願いしたい。

⇒ その他、質問なし

5 議事**(1) 「富県宮城の実現」に向けた各団体の取組の実績及び計画について**

※ 出席団体、東北農政局及び東北経済産業局から資料8-1を中心に「富県宮城の実現」に向けたそれぞれの取組計画などについて説明、続いて国土交通省（東北地方整備局、東北運輸局）から主に資料10に基づき「平成21年度の宮城県内の主要事業」などについて説明

東北大学 飯島幹事長

- 各団体から「富県宮城の実現」に向けた、主に平成21年度 of 取組計画の説明があったが、これに関して質問はいかがか。

⇒ 質問なし

(2) 団体間で協働化可能な検討テーマ(案)について

※ 事務局(富県宮城推進室 加藤室長)より、資料11に基づき説明

- 来年度の検討テーマ(案)について各団体から募ったところ、5団体から11の取組が提案された。この中から2つか、3つ程度に絞って頂き、6月の推進会議に報告しテーマを決定して頂くことを予定している。

(社)みやぎ工業会 白幡特任顧問

- 平成22年度に取り組むテーマとして③「大学側の困りごと(ニーズ)と県内企業とのマッチング」を提案しているが、21年度からその準備を進めたいと考えている。
- 東北大学あるいは東北学院大学のシーズを県内企業と結びつけるという話は今まであったが、大学が持っているニーズを県内の産業界と結びつけることは余り行っていないのではないか、ということが工業会の政策委員会で話題となり提案したもの。
- 大学では、色々な研究開発が行われているが、試験設備あるいは実験設備など、ハード・ソフトと色々なものが外部に発注されていると思うが、そのような実態は業界では把握できていない。一部、特定の企業は大学と連携して受注している企業はある。
- 大学側がどのようなものを、どのような額で発注されているのかを把握し、逆に大学側でも県内の企業をもっと見て、知って頂き、その上で地域内で消費「知産地消」して欲しいという想いから提案したもの。この様なテーマであれば、「産と学の連携」、産の中でも「ハードとソフトの連携」もできるのではないかと考える。

東北大学 飯島幹事長

- ただ今、みやぎ工業会から説明がありましたが、各団体から説明して頂く前に、まず、事務局から説明があった11の取組の中から、2つか、3つ程度に絞ることについてはいかがか。

⇒ 了解

東北大学 飯島幹事長

- 各団体から団体間で協働化可能な検討テーマ(案)について説明をお願いしたい。

(社)東北経済連合会 小野地域政策部長

- ①「教育旅行の誘致」については、資料の「産業観光」の中に教育旅行が含まれると認識している。教育旅行を誘致するには3年を要するといわれており、1年では解決できないものであるため、時間をかけて取り組んでいく必要があるということで提案した。
- ②「ポートセールス」については、整備局、運輸局、県と一緒に取り組んでいる。北米航路に関しては、仙台港は東北の中でも優位性があり、今年6月には、航路がタイまで拡大され、さらに積荷も3,000TEUから6,000TEUと2倍に拡大されるなど、今後ロット確保等の問題が発生する。この問題に対応するため、団体間で連携し対応する必要があるのではないかとということで提案した。

宮城県商工会議所連合会 佐藤理事・事務局長

- ④「次代を担う製造業関連の人材育成（継続）」、⑤「観光消費を拡大する観光推進事業の取り組み（継続）」については、資料のとおり継続して取り組んではどうかということである。
- ⑥「農商工連携の具体事業の取り組み」については、具体のイメージを持っての提案ではないが、当連合会が農商工連携に関する成功事例を取りまとめた調査では、連携パートナーの確保が一番困難という結果であった。県地方振興事務所は、第1次産業の方と太いパイプを持っているので、仙台会議所としては地方振興事務所と連携を図りながら、連携促進のためのセミナー開催や名刺交換会などを計画している。
- ついては、各団体が連携し、例えば1次産業と2次、3次産業の方々双方のプレゼンの場の設定や、連携のための人材育成事業などが実施できないか、漠然としたイメージであるが提案したもの。

宮城県商工会連合会 菊地事務局長

- ⑧「仙台・宮城「伊達な旅」キャンペーンの推進」は資料記載のとおりである。
- ⑦「農商工連携を進めるための人材育成」は、商工会議所連合会と同じ農商工連携のテーマであるが、趣旨についても同じである。先ほど、平成20年度の農商工連携の推進の中で、宮城県内で第1号の認定を排出することができた。
- この事業を推進する中で、現場で見た場合、我々組織は、2次産業、3次産業については承知しているが、事業を拡大する上では、1次産業のやる気のある方との接点が全くない。そのため、1次産業の団体との協力、事業の共催などを推進していく必要があると感じている。平成22年度とは言わずに、今年度からでも現場レベルにおいて、その方向で取り組ませて頂きたい。農林漁業団体ももっと連携を深めさせて頂くことを考えている。

(社)宮城県情報産業サービス協会 菅野事業共創委員会委員長

- ⑩「地域IT企業の人材の育成・確保策の強化」については、既に取り組んでいる事業であるが、継続させて頂きたいというものである。
- ⑨「IT化促進による県内企業の活性化」と⑪「地域IT企業としての地域経済活性化への協体制強化」は2つとも関係している。経済産業省のIT系を通じた新しい成長実現という資料があるが、基本的に新経済成長戦略は人口減少という逆法をついた新しい成長を目指し、製造業とサービス産業が、今後の我が国の経済双発のエンジンと位置づけている。
- すべての産業に関して、ITを革新的に活用して頂くことによって、「富県宮城の実現」に向けて協力できるのではないかという趣旨で提案した。

東北大学 飯島幹事長

- ただ今各団体から説明があったが、これらについて意見交換を行いたい。各団体の皆様いかがか。

経済商工観光部 若生部長（副幹事長）

- 人材育成の時に非常に問題なのは、先ほど商工会議所連合会から話があったが、生産者の方々の情報がないと、2次、3次産業の方が取り組むにも取り組めないということがある。
- 人材育成について、この中で取り組むのも良いと思うが、中小企業団体中央会で取り組もうとしている中身が、生産者サイドの意欲ある向上なども含んでいるのか確認したい。

宮城県中小企業団体中央会 羽根田事務局長

- 現在、申請中であるが、対象者は1次生産者、中小企業の経営者、またはそれぞれを支援するコンサルタントの方が対象。例えば、食品製造業に関しては、食品衛生法や食品表示法など様々な規制があるが、食品加工業の製造から流通までに至る様々な分野において、カリキュラムを組んで実施する。農業・漁業・森林業などの直接の生産については、カリキュラムに入っていない。

東北学院大学 柳井教授

- みやぎ工業会から提案のあった③のテーマについては、当大学の調査企画課に伝え、窓口を作れるかも含め検討させて頂く。
- また、地産地消は、人、モノ、金の域内循環を高めていく取組といえる。その中に人材と技術を育成していくという狙いがあるため、地域内のニーズとシーズをマッチングしていくことが大事と考えている。

東北大学 飯島幹事長

- これから絞り込むこととなるが、事務局から絞込みについていかがか。

事務局 富県宮城推進室 加藤室長

- 観光については、3団体から番号①、⑤、⑧の提案を頂いている。既にこの取組はこれまで2年間実施しているが、県でもポストDCの取組を今年度実施の予定である。さらに、来年度以降も観光振興を進めていく予定であることなどから、引き続き実施頂ければと考えている。
- ②のポートセールスについては、貿易の振興など、経済効果が非常に大きい。また、③の大学と企業のマッチングについては、産学連携といったことからさらに進めていくことが必要と考える。従って、「観光」と「ポートセールス」、「大学と企業のマッチング」を平成22年度の検討テーマ（案）としてはどうかと考える。
- ④の人材育成については、既に2年間取り組んでいるとともに、昨年度から国の交付金を活用して各種の対応が図られている。また、農商工連携については、国の補助事業などのスキームができている。掘り起こしをどのように行うかも含め、今回のテーマとはせず、地方振興事務所も取り込みながら商工会議所連合会、商工会連合会、中小企業団体中央会とも連携し、また経済産業局、農政局、市町村と一体となる中で進めていきたい。
- ⑨、⑩、⑪のITについても、今回の連携事業に限らず様々な取組で活用を図っていくことが必要と考えており、今回の直接の連携テーマとはしないものの、テーマの取組の中で活用が図られるよう工夫して参りたいと考える。

東北大学 飯島幹事長

- ただ今、事務局から説明があったが、資料の②と③、そして観光の①⑤⑧を平成22年度の検討テーマにしてはどうかとのことであるが、幹事の皆様いかがか。

⇒ 了承

(3) 年間スケジュール（案）について

※ 事務局（富県宮城推進室 加藤室長）より、資料11に基づき説明。

⇒ 了承

6 その他

⇒ なし

7 閉会